

授業改善プラン（算数）

目指す児童像	習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用して、主体的に学び、自らの考えを表現する児童	
学 年	課題（児童の実態）	具体的な改善プラン
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算に意欲的に学習する。しかし、文章題において、何がわかっていて何を求めればよいかの読み取りができていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章問題に多く取り組ませる。その中で、「わかっていること」「求めること(聞かれていること)」のキーワードを探すことに慣れさせる。繰り返し指導する。</li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算の仕方等を自分の言葉で説明することが難しい。</li> <li>・基礎基本の定着に時間がかかる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○図や絵、式、言葉等を用いて考え、説明する活動をより多く取り入れる。</li> <li>○繰り返し声に出して唱えたり、問題に取り組んだりすることで身につけられるようにする。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ算九九が未定着な児童がいる。(じっくりコース)</li> <li>・基本的な計算はできるが、図形や文章題など思考面に課題がある児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習で協力を仰いだり、ステップタイムを活用したりして身に付けてさせていく。</li> <li>○1時間の授業の中で、ぐんぐんコースは15分、しっかりコースは10分、じっくりコースは5分程度、自分の力で考える時間を確保する。</li> </ul>
4 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけ算九九が未定着な児童がいる。(じっくりコース)</li> <li>・基本的な計算はできるが、図形や文章題など思考面に課題がある児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習で協力を仰いだり、ステップタイムを活用したりして身に付けてさせていく。</li> <li>○1時間の授業の中で、ぐんぐんコースは15分、しっかりコースは10分、じっくりコースは5分程度、自分の力で考える時間を確保する。</li> </ul>
5 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題の解き方を記述したり、説明したりするのが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを言葉や図、式、数直線などを用いて説明する活動を意識的に取り入れる。友達の考え方や発表の仕方のよさに気付かせる。</li> </ul>
6 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算技能など基本的な技能を身につけているが、2量の関係を表したり、問題の解き方を説明したりするのが苦手である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題を把握する段階で対応数直線を活用したり、自分の考えを式・図・言葉を用いて説明したりする活動を意識的に取り入れる。</li> <li>○考えることの面白さを実感できるような教材を活用する。</li> </ul>